

あなたの願い叶え隊

- 第35回 -



様
92歳

■様には、ここ「つばさ」に大切にされている特別なご友人がいらっしゃる。お隣同士の家に住み、入居される前からの長いお付き合いである■様（きみしゃん）です。日々の何気ない瞬間も、お二人はいつも互いを思いやりながら過ごされています。

今回、■様のお誕生日に合わせ、クリスマスイルミネーションの点灯式へのお出かけを提案しました。すると■様は「よかですね」と微笑まれ、「きれいかでしょうなあ。どうせなら、きみしゃんで行きたいです」と、ご友人の名前を挙げられました。その想いを■様に伝えると、「嬉しい。そう言ってくれたなら行きたいです」と、二つ返事で快諾してくださいました。



いちばんのプレゼントは、あなたと過ごす時間です



寒さも忘れる、あたたかい時間

行き先は、桜十字熊本宇城病院です。中庭に飾られたイルミネーションは、入院患者様が作業療法の一環として心を込めて飾り付けされた、想いの詰まった作品たちです。普段は入院患者様とそのご家族が対象ですが、つばさの外出行事の趣旨に賛同いただき、特別に参加させていただけることになりました。

カウントダウンの音が響き、一瞬で夜の闇が煌めく光の世界へと変わったその時、お二人の目に映ったのは、「天使のオブジェクト」でした。真っ白な光を纏い、優しく羽を広げた天使の姿は、まるで誕生日を祝福するために舞い降りたかのよう。■様は思わず息を呑み、隣にいらっしゃる■様と共に、その幻想的な輝きをじっと見つめておられました。点灯後は光のアーチを仲良くくぐり、大好きな■様と一緒に色とりどりに輝くオブジェを楽しめました。

帰りの車内、■様は何度も、そして愛おしそうに「綺麗だったですねえ……」と繰り返されていました。その瞳には、先ほど見た光の余韻が今もなお優しく宿っているようでした。

■様がこれほどまでに感動されていたのは、単にイルミネーションの輝きが美しかったからだけではありません。一年に一度の「誕生日」という大切な節目に、■様と一緒にいられたこと。同じ瞬間に息を飲み、同じ光のアーチをくぐ



心に灯った一生の思い出

り、同じ感動を分かち合えたこと。

その一つひとつ

が、■様の心を温かく満たしていました。

華やかな光のイベントはわずかな時間でしたが、大好きな■様と肩を並べて眺めたイルミネーションは、どんな宝石よりも価値のある贈り物として、■様の心に深く、優しく刻まれたご様子でした。

冬の夜風は冷たくとも、お二人の間には、いつまでも消えることのない「幸せのイルミネーション」が灯り続けているようでした。



素敵な飾りを見て回りました

「人生はもっと輝ける」をスローガンに、職員全員で入居者様の笑顔を増やすべく取り組んでいます。つばさは、まだまだ勉強する面もたくさんありますが、今出来ることから一歩ずつ進めています。

現在1室の空きがあります。お気軽にお問い合わせください。